

学校だより

# みそら

学校教育目標 「みんな なかよく たくましく」

～未来に向かって、夢と希望を持てるみそらの子～



令和7年6月30日  
令和7年度7月号

四街道市立みそら小学校

在籍児童 99名

TEL : 043(432)1500  
(家庭数配付)

## まとめの時期

蝉の声が聞こえ始め、夏本番が近づいてきました。入学・進級から、あっという間に3ヶ月が経ち、学校ではまとめの時期を迎えます。7月は、1学期を締めくくるという意味において、心の成長に大きな影響を与える月といえます。7月19日からは、子どもたちが楽しみにしている夏休みになります。今年の夏休みの期間は44日間。やり残していることや気になっていることを確認・整理させて、気持ちよく夏休みを迎えさせたいものです。

また、本校では7月1日～18日を「大切な命ウィーク」として、子どもたちが命の尊さについて考える取り組みを行います。命は、一人一人に等しく1つずつ、いや1つしかありません。そして、失われたら決して戻ってくるものがない今を生きている証です。万一、命が失われることがあれば、周りにいるたくさんの人が深い悲しみに襲われます。このように考えると、一つの命は本人だけでなく周りの人にとっても本当に大切なものといえます。

始業式と入学式で、子どもたちに「自分を大切にすること」と「周りの人を大切にすること」についてお願いしましたが、まさにここにつながっているものです。ご家庭におかれましても「命」について語り合う機会を、ぜひ持っていただきたいです。子ども一人一人が、かけがえのない存在であることを、私たち大人がしっかりと伝えていきましょう。

7月も、本校教育活動へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

## みそらニュース

### ～魅力の和楽器体験「邦楽入門コンサート」～

今年度の芸術鑑賞教室は、文化庁の事業である「学校巡回公演」から、和楽器体験を味わうことのできる「邦楽入門コンサート」を開催することといたしました。5月27日には、5・6年生を対象に事前のワークショップとして、箏・三味線・尺八等、和楽器の音が出る仕組みを説明していただいたり、実際に楽器を手にして音を出してみたりしました。普段、触れる機会が少ない楽器だけに、音を出すのに苦労をする姿も見られましたが、目を輝かせながら練習に取り組みました。

また、6月10日には、保護者・地域の方にもお声がけをして、「邦楽入門コンサート」を開催しました。演奏団体「玉手箱」は、国際的にも活躍をされているグループであり、数々のすばらしい演奏を聴かせていただきました。後半には、ワークショップで学んだ成果の発表と

して、「玉手箱」と子どもたちとの「さくら合奏」を披露しました！



## ～不審者への備えを～

6月12日には、四街道警察署から2名の署員を招いて、職員対象の不審者対応研修を実施しました。子どもたちの命や安全を守るとともに、職員自身の身を守るために、不審者（はっきりと分からない場合を含めて）に対してどのように声をかければよいかについて学びました。また、さすまたの扱い方のコツや、さすまたが近くにないときの対処法についても、実技を交えながら学ぶことができました。



## ～4年生「落語体験」～

6月16日には、落語家（真打）の さんをお招きして、4年生「落語体験」を実施しました。国語科の「落語 ぞろぞろ」に関連しての学習となります。

はじめに、落語における扇子の使い方（箸・煙管・はさみ等に見立てて使う）や簡単な小咄を紹介していただきました。和やかな雰囲気の中、次第に落語の世界に引き込まれていきました。児童は、今回学んだことを生かして、自分たちでも落語の発表会を計画しています。楽しみですね！！



# お知らせ

「不登校に関する市や県からの情報や相談機関はこちらをご覧ください」

四街道市青少年育成センター ホームページ

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/smph/kurashi/shisetsu/yakushopub/ysei shonen.html>

